

ふじみ野市の お金の使いみち

～ 令和4年度 決算について ～



ふじみ野市 総合政策部 財政課

目次

1. 決算ってなに？ 1
2. 詳しくみてみよう～歳入～ 2
3. 詳しくみてみよう～歳出～ 3
4. ふじみ野家（市）の家計簿 4
5. ふじみ野市の借金と貯金 5

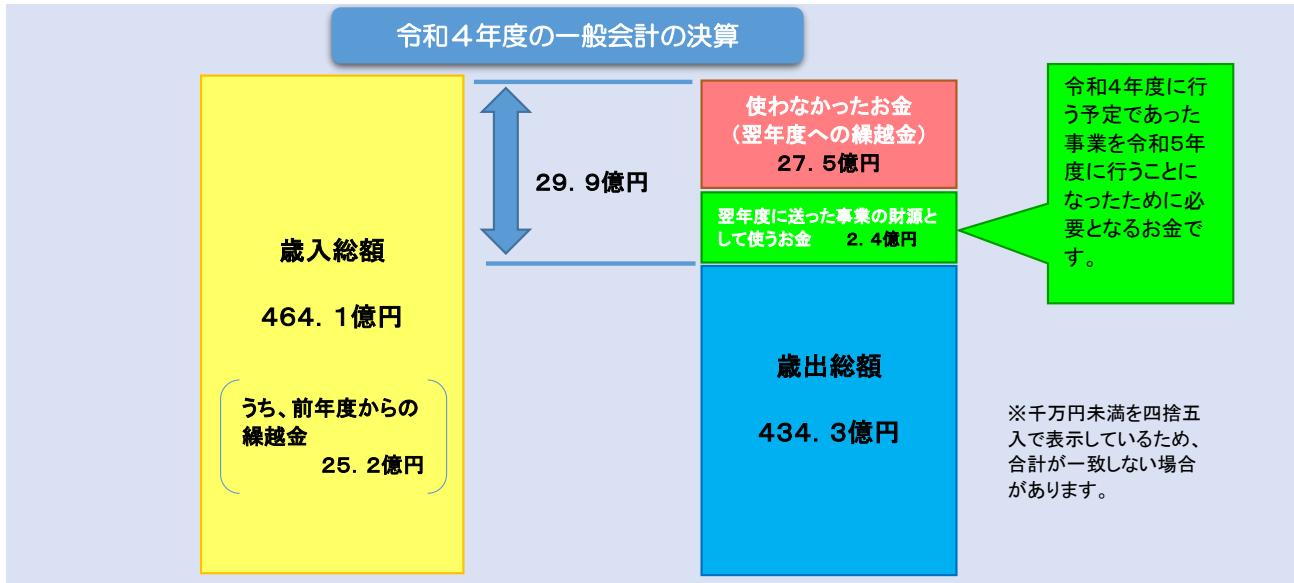


1

決算ってなに？



1年間（4月～翌3月）に入るお金（歳入）と使うお金（歳出）の計画である**予算**に対して、決算は、その実績を示したものです。

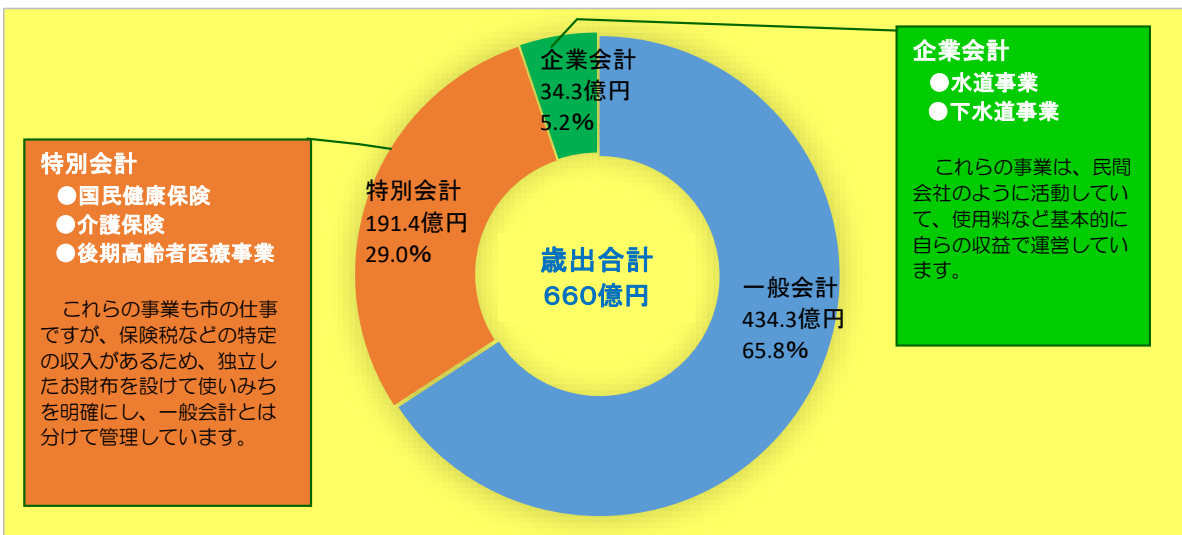


一般会計って？

福祉や保健、ごみ処理、道路や公園の整備、消防、教育など、市の基本的な仕事を行うための市で一番大きなお財布です。主に市税で賄われています。

他にはどんな会計があるの？

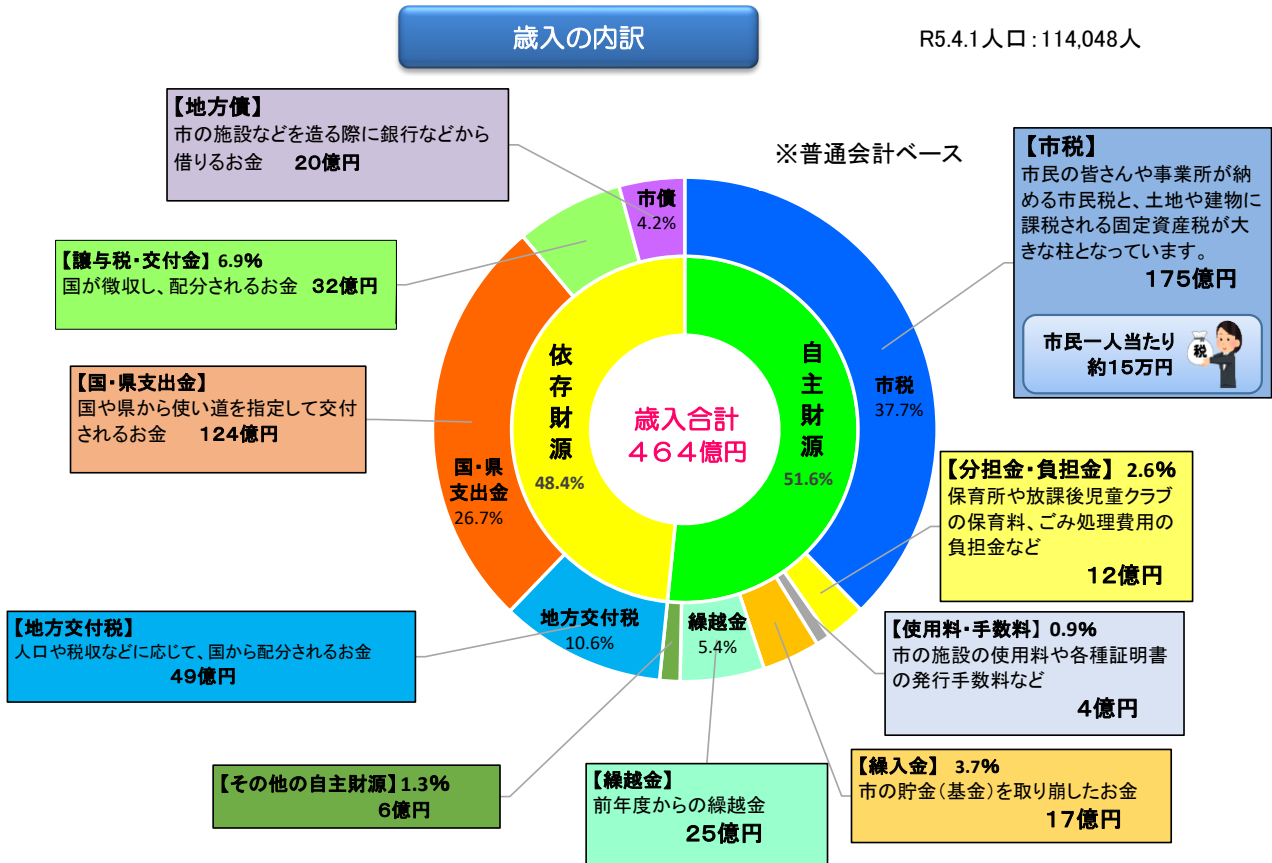
特定の収入があり、その使い道を明確にするため、**一般会計**とはお財布を分けて管理している**特別会計**や**企業会計**があります。



2

詳しくみてみよう～歳入～ どんな収入があったの？

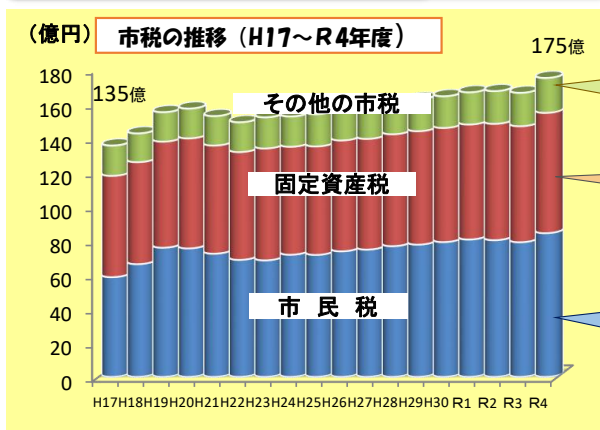
令和4年度のふじみ野市の収入額約464億円のうち、市民の皆さんに納めていただいた市税の合計は、175億円（構成比37.7%）でした。



自主財源と依存財源？

「自主財源」とは、市税のように市が自ら集めることができるお金。一方「依存財源」は、国や県から交付されるお金。一般的には、自主財源の割合が高いほど自主的、安定的に行政が行われるといわれていますが、ふじみ野市は、国が返済の肩代わりをしてくれる有利な借金（地方債）と国や県などの補助金を活用しながら小学校大規模改造事業などの大規模な建設事業を行っていることから、依存財源の比率が高い傾向にあります。

市税にはどんなものがあるの？



その他の市税

たばこを買った方が納める「たばこ税」や、軽自動車などを取得した方や持っている方が納める「軽自動車税」、市街化区域に土地や家などを持っている方が納める「都市計画税」があります。

固定資産税

土地や家などを持っている方が納める税です。

個人市民税

市民の皆さんが所得に応じて納める税です。

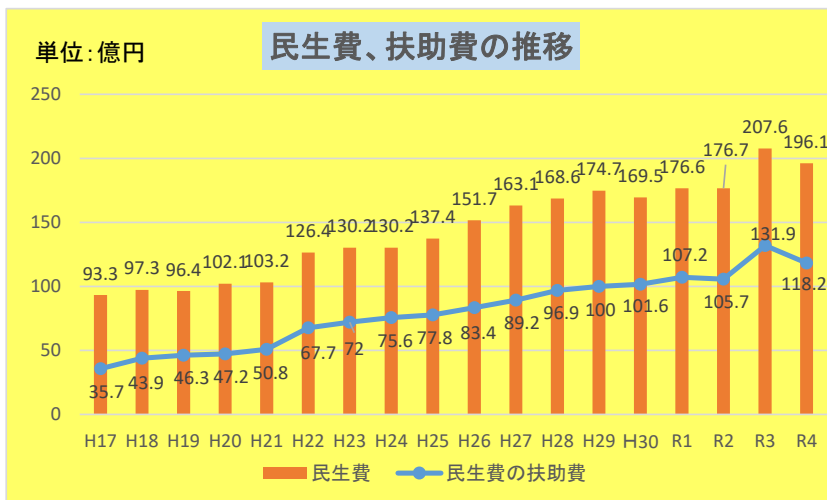
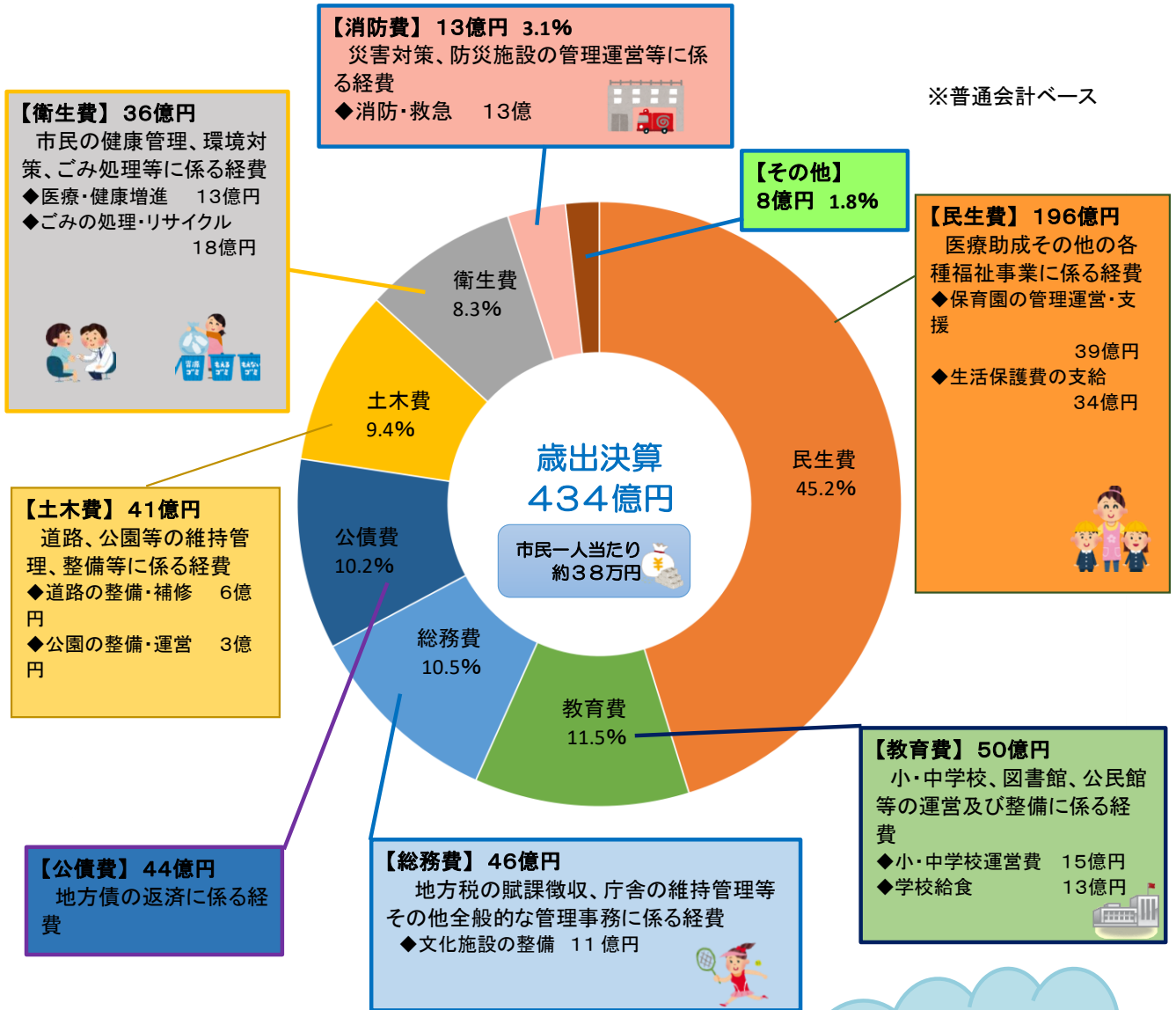
法人市民税

市内の会社が所得などに応じて納める税です。

3

詳しくみてみよう～歳出～ なんのために使ったの？

令和4年度のふじみ野市の支出額は約434億円でした。このうち、民生費と教育費で全体の約57%が使われています。



「民生費」は、ふじみ野市が誕生した平成17年度と比較して約2.1倍に増加しました。そのうちの生活保護費や子育て世帯、高齢者、障がい者の生活を支援するための「扶助費」は約3.3倍に膨らんでいます。令和3年度の扶助費が特に大きくなっているのは、子育て世帯臨時特別給付金等の支給をしたことが要因となっています。



4

ふじみ野家(市)の家計簿～11万人の台所事情～

平均年収
約546万円の
家計に例えると・・・

令和4年度のふじみ野市の決算額を厚生労働省の発表している「国民生活基礎調査」に基づく世帯の平均所得金額約546万円に合わせて家計簿に例えてみました。



収入

●給料	310万円
・基本給	206万円
市税	
・諸手当	94万円
地方交付税・譲与税など	
●パート収入	26万円
使用料・手数料など	
●親からの仕送り	146万円
国・県支出金など	
●ローン(借入金)	24万円
地方債	
●貯金の取崩し	20万円
繰入金	
●繰越金	29万円
繰越金	
収入合計	546万円



支出

●食費	67万円	人件費	義務的経費
●医療費	146万円		
●ローンの返済	52万円	公債費	
●光熱水費など雑費	135万円	物件費・補助費等	
●車などの修理代	6万円	維持補修費	
●子どもへの仕送り	42万円	繰出金	
●家や庭の建築・改修	33万円	普通建設事業	
●貯金など	29万円	積立金	
支出合計	511万円		

食費や医療費、ローン返済などの「義務的経費」の占める割合が高くなっています。

収入合計546万円から支出合計511万円を差し引いた35万円のうち、今年度終わらなかった家の建築・改修等2万円を差し引いた33万円が節約して手元に残ったお金になります。この33万円は、次年度に繰り越して使用することになります。

用語の説明

人件費	職員の給料など
扶助費	生活保護費のほか、子育て世帯や高齢者、障がい者への支援などに係る費用
公債費	借金の返済
物件費	光熱水費、事務費のほか、専門知識が必要な仕事などを外部委託するための費用
補助費等	補助金、負担金など
維持補修費	施設の維持管理に係る費用
繰出金	特別会計の運営を補うための費用
普通建設事業費	道路、学校などの建設や大規模な改修などの整備に係る費用
積立金	基金への積立金

5

ふじみ野市の借金(地方債)と貯金(基金)

地方債ってなに？

市の借金のことをいいます。家計でいうローンをさします。

どうして借金をするの？

公共施設の整備には一度に多くのお金が必要になります。これをその年の収入だけでやりくりしてしまうと他に必要な市民サービスができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するため、負担の公平性を考え、借金をして『現在の市民』と『将来の市民』で平等に協力することにより費用負担の公平性を確保するものです。

地方債を使わないと・・・



現在の市民

費用負担なし



将来の市民

地方債を使うと・・・

費用を協力して負担

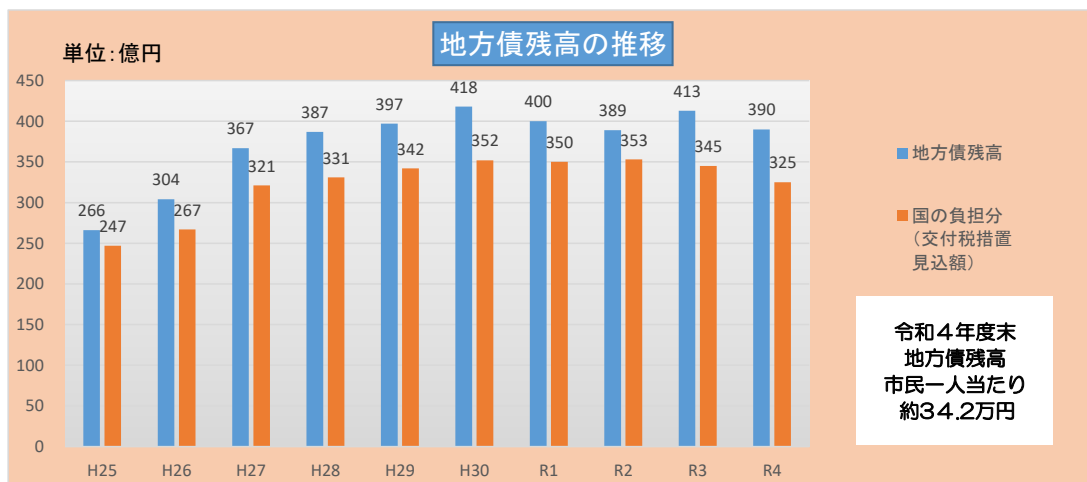


現在の市民と将来の市民

市の借金はどれくらいあるの？

令和4年度末の地方債残高は、約390億円です。主に道路や公園、スポーツ施設、文化施設、学校などの公共施設の整備に使われています。

地方債の中には、返済のための財源の一部又は全部を国が負担してくれるものがあり、ふじみ野市は、そのような地方債を多く活用することで負担の軽減を図っています。

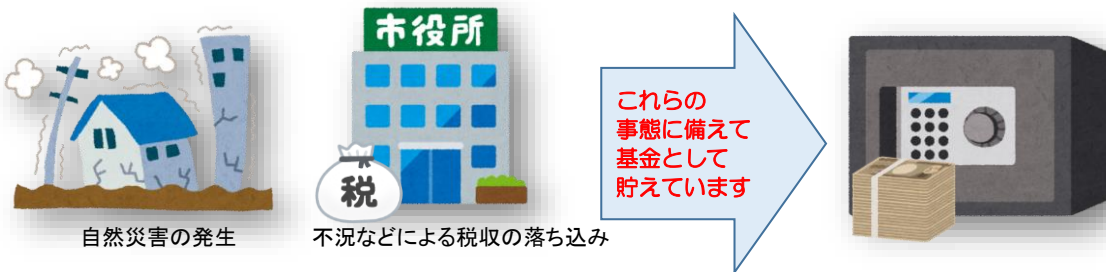


基金ってなに？

市の貯金のことをいいます。

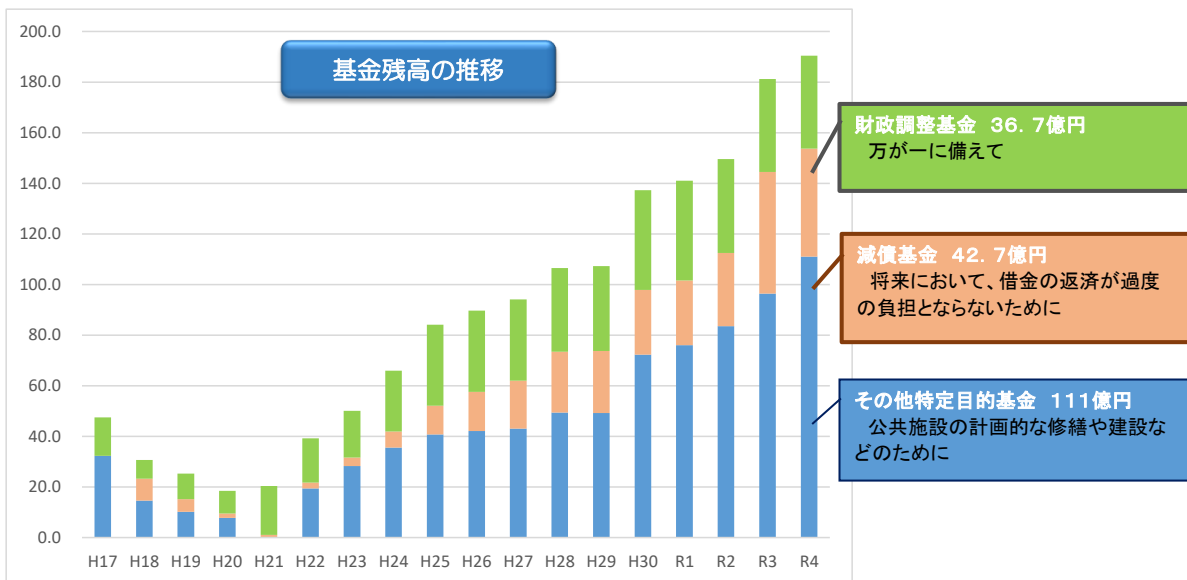
どうして貯金をするの？

市税などの収入は、経済の状況により変化し、一定ではありません。また、老朽化した公共施設の改修には一度に多額の費用を要します。さらに、大規模な自然災害など、不測の事態にも安定した市民サービスを提供していくため、備えておく必要があるからです。

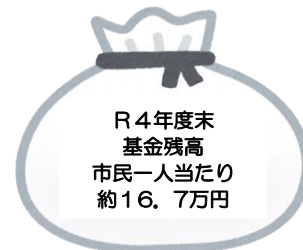


基金の残高はどれくらいあるの？

ふじみ野市では、予期せぬ収入減や支出の増に備える財政調整基金のほか、借金の返済のための減債基金や特定の目的に応じて積み立てている特定目的基金があります。令和4年度末の基金の残高は、約190億円となっています。



地方債（借金）の残高は、令和4年度は減少しましたが、今後、文化施設の整備などに多額の費用がかかるため地方債（借金）は増加する見込みです。今後市の負担が少ない地方債を活用することや基金（貯金）を計画的に積み立てることで、将来の市民の皆さんの負担が大きくなるようにしていきま



発行者	ふじみ野市 財政課
住 所	〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
電 話	049-262-9004